

# 国際協力



2013 新春号 | No.34 2013.1.1 | JICA駒ヶ根

## Contents

JICAボランティア秋募集の報告 … 2	青年研修を佐久市で開催 …… 3
イベント・レポート …… 2	帰国ボランティア紹介 …… 3
教師海外研修 …… 3	インフォメーション …… 4
中学生体験入隊 …… 3	長野県出身新ボランティア …… 4

## 信州グローバルセミナー2012



星のステージでのクローージングセッション

今年度も長野県内の市民が国際協力について考える「信州グローバルセミナー2012」が12月9日(日)に駒ヶ根青年海外協力隊訓練所で開催されました。

セミナー当日は小雪が舞う生憎の天気でしたが、長野市、上田市、松本市から無料バスも運行され、北信、東信、中信、南信と幅広い地域の高校生から70代までの市民、総勢134名に参加いただきました。

オープニングセッションでは、堀内好夫所長が「市民参加の国際協力」と題してこれまでの日本の援助の事例を紹介するとともに、市民一人一人が国際協用に目を向けることの重要性を伝えました。

その後のセッション1では、アフリカ開発、開発教育、平和構築、フェアトレードなど各分野の第一線で活動・研究されている各講師が講座を担当。各講座では、参加者がグループに分かれて課題についてのディスカッションや講師への質問も活発に行われました。

昼食&懇談会では、3種類のカレーを選んで食べながら、参加者同士の交流も行われ、「初めて食べるカレーばかりで、ナンもついていて大満足でした」との感想をいただきました。

午後のセッション2では、県内の団体や学校で取り組まれている国際協力、国際交流、多文化共生を各講師が紹介。各講座では、グループディスカッションや体験型ワークショップが実施され



コーヒー豆の選別作業



小学校英語教育体験

ました。講座の1つ須坂園芸高校のカンボジア活動報告に参加した高校生からは、「同じ高校生が国際協力を実践していることに刺激を受けた」との感想もありました。

最後のクローージングセッションでは、4~6名のグループに分かれてそれぞれの講座での学びとこれから実践してみたいことを発表。限られた時間だったため、「もっと話し合いたかった」との声もありましたが、今日1日を振り返る時間となりました。

今回、悪天候の中セミナーに参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。JICA駒ヶ根では、今回の反省や参加者のご意見をもとに、来年度もグローバルセミナーを開催する予定です。ぜひ、次回の「信州グローバルセミナー2013」をご期待ください。

## 新所長 挨拶



新年明けましておめでとうございます。  
この年明けに堀内所長の後任として駒ヶ根に赴任してまいりました、仁田知樹(にったともき)と申します。これから信州の皆様に変なお世話になります。どうぞよろしくお願ひいたします。

つい昨年暮れまで、ヒマラヤ山中の小さな王国・ブータンのJICA事務所に勤務していました。ブータンにやってくる日本人観光客の中で、「何だか故郷に帰ってきたみたい」とおっしゃるのは、必ずと言っていいほど、信州出身の方々でした。山々に包まれたブータンの美しい風景は、信州のそれとそっくりです。また、ブータンと言えば、国民総幸福(GNH: Gross National Happiness)というユニークな政策を掲げている国として知られていますが、2011年に法政大学の研究チームが行った幸福度調査で、長野県の幸福度は47都道府県中第7位と上位にランキングされています。ブータンと同じ「幸せの山国-信州」でこれから皆様とご一緒させていただくことに大きく胸を膨らませております。

信州に暮らすのは初めてですが、一日も早く立派な信州人になれるよう精進する所存ですので、どうかご指導・ご支援のほど、よろしくお願ひいたします。

# ..... JICAボランティア秋募集の報告 .....

平成24年度の秋募集では「長野県だけでなく全国的にも参集者数、応募者数ともに伸び悩み」という結果になりました。特徴としましては、語学要件や要請の内容を読んだ段階で応募を諦める方が多い傾向にあります。

語学資格のスコア提出が義務付けられ、さらにその有効期限が過去5年以内という制限が出来たために、学生時代等に取得した資格要件が無効なため、応募を諦める方もいたようです。また、複数のシニア海外ボランティア対象者から、要請内容が専門的過ぎるとの意見が述べられていたため、今回の募集期では応募者数を伸ばすために、現在、資格・語学要件等の敷居を低くする取り組みを検討中です。

JICAボランティアへの募集、説明等につきましては、募集期間外でも随時受け付けておりますので、駒ヶ根訓練所宛ご連絡ください。



訓練中のボランティア候補者との昼食懇談会



長野市「もんぜんぶら座」での募集説明会

## ●H24年度「秋募集」応募者数 (人)

全国24年秋募集期	全国24年春募集期	長野県24年秋募集期	長野県24年春募集期	長野県24年春募集期
青年海外協力隊	1,205	1,550	16	22
シニア海外ボランティア	455	594	7	10
日系青年ボランティア	81	8	1	0
日系シニアボランティア	86	0	1	0

## ●長野県内開催「募集説明会」参集者数の推移 (人)

	24年秋募集期	24年春募集期	23年秋募集期	23年春募集期	22年秋募集期
青年海外協力隊	48	60	43	16	67
シニア海外ボランティア	21	23	21	10	32

## イベント・レポート Event Report



### ▶アフリカ大使 来訪

11月23日、駒ヶ根市を視察で訪れているガーナ、タンザニア、ウガンダ、リベリアの大使や大使夫人、大使館員などの一行7名が訓練所を訪問し、訓練中の平成24年度3次隊のボランティア候補者たちと懇談しました。施設見学に続いて開催されたティー・パーティーでは、候補者20名あまりが大使らと英語で会話。アフリカの国々の様子について熱心に質問する候補者の姿が見られ、大使からも海外で現地に溶け込むための心得などが披露されました。



### ▶高等学校教職員研修を開催



国際理解教育ワークショップ

例年、長野県総合教育センター主催で開催している「高等学校10年経験者研修、地域研修D～国際理解教育～」が、今年度は11月16日(金)に駒ヶ根訓練所で開催されました。当日は15名を対象に、青年海外協力隊や教師海外研修経験者による活動報告、訓練中の候補者との昼食懇談会、所内の施設や語学クラスの見学、国際理解に関するワークショップを体験して頂き、参加者からは、「国際協力の意義や、世界や未来のために、今の自分にできることを考えさせられました」等、より身近に国際協力を体感して頂く機会となりました。今年度はその他にも南信地域の高校初任者研修や、上伊那地域の義務教育の初任者研修等にも訓練所の施設をご活用頂き、研修が実施されました。

### ▶帰国隊員の県知事表敬訪問

去る11月22日、長野県庁で阿部守一知事に3名の帰国隊員、倉澤祐毅さん、山田紗織さん、渡邊希さんが、帰国報告を行いました。

それぞれの国を「第二の故郷」との思いで阿部知事に報告し、知事も「どこにあるの?地図で見たい」などと質問されていました。また、「人見知りの性格が任国でなおった。どこにでも飛び込んでいく勇気をもたらした」という帰国隊員には「自分から飛び込んでいける人材が求められている。」と激励されていました。

また、帰国後の就職についても「皆さんの経験を長野県に還元してもらえよう、われわれも企業にPRしたい」とおっしゃっていただきました。



平成24年度



## 教師海外研修 ラオス派遣

★千曲市立埴生中学校 小林 実季

昨年の夏休みに研修としてラオスへ行かせていただきました。海外研修では実際に発展途上国と言われている国へ行けると聞き、「自分の見たことを子供たちに伝えたい」という思いで参加しました。途上国と言われてはいましたが、実際行ってみると、ラオスはたくさんの笑顔や優しさで溢れている国で、人々は皆幸せそうだったことに驚きました。ラオスは日本のように文明的に発展しているわけではありませんが、とても自然が豊かな村でゆったりと過ごしている人



訪問した学校にて



を見ると、それを「発展」や「開発」によって失くしてはいけないのではないかと強く感じました。人々にとって本当に大切なものを残しながらも、ラオスらしい発展がこれからできることを願いたいと思います。

## 「みなこい」中学生体験入隊を開催

平成2年度から約20年にわたり駒ヶ根青年会議所主催で行われてきた中学生の体験入隊が、今年は駒ヶ根協力隊を育てる会主催により11月17日～18日に1泊2日の日程で開催されました。全国に2カ所しかない青年海外協力隊訓練所の立地をいかし、語学クラスやボランティア候補者との交流、国際理解教育のワークショップなどを通じた訓練の疑似体験を行う中で、世界の諸問題を知り、それを自分自身の問題として捉え、物事を地球サイズの広い視野と長いスパンでみつめる機会とすることを目的としたプログラムに25名の中学生が参加。短い時間ではありましたが、各自が世界との繋がりがや、国際協力の意義について考える貴重な機会となりました。なお、参加者のうち8名は、冬休みに駒ヶ根市が実施するネパールへの派遣事業に参加します。



## 平成24年度 青年研修を佐久市で開催

青年研修／保健医療実施管理コースのインドネシアからの研修員17名(男性3名、女性14名)が11月1日～18日の日程で研修を実施しました。JICA東京でのプリーフィング後、11月3日にJICA駒ヶ根で開講式を実施。その後は佐久市の(財)農村保健研修センターに宿泊をしながら、合宿形式の集団生活を行いました。研修員は交代で調理班・買い物班等の作業分担を行う事で、研修員同士の結束も深まりました。長野県庁での講義以外は、佐久市・南佐久郡を中心に農村地域の保健医療サービスを重点に学び、夜間も自主的にミーティングを行うなど士気も高く、効果的に研修を修了する事が出来ました。



開講式後の記念撮影



AED操作研修



佐久病院屋上のドクターヘリ



(財)農村保健研修センターでの修了式

## 帰国した JICAボランティアの方々

2年間の活動  
お疲れ様でした!!



梅澤 志穂 さん (駒ヶ根市)

●派遣国：ニジェール、ウガンダ  
●職種：看護師

ニジェールでは、保健センターで健診業務などを行っていました。治安の悪化で振替派遣先となったウガンダでは、県立病院の医療サービスの質の改善活動に取り組みました。言葉や文化の違いに戸惑うこともありましたが、途上国で暮らし、働くということは、とてもやりがいのあるものでした。貴重な経験を社会に還元できるよう、今後は国際保健に携わる仕事に就きたいと考えています。



内村 知子 さん (長野市)

●派遣国：セネガル  
●職種：看護師

小学校を中心に保健啓発活動をし、病気予防行動のための「きっかけ」作りをしていました。セネガルでの活動や生活で泣き・怒り・笑い・喜び等、多くのことを考え学んだ2年間でした。この体験を社会還元し今後の生活に生かしていきたいです。



派遣前訓練公開講座

- ▶ JICAボランティア事業の理念と目標 ..... 1/16(水) 13:00～14:50
  - ▶ JICA事業概要 ..... 1/18(金) 13:00～13:50
  - ▶ 世界の宗教理解 ..... 1/24(木) 14:10～17:00
  - ▶ 国際関係と日本の国際協力 ... 1/30(水) 14:10～17:00
  - ▶ 異文化適応概論 ..... 2/2(水) 15:10～17:00
  - ▶ 地球のステージ(コンサート) ... 2/22(金) 19:00～21:00
  - ▶ ニッポンの知恵から学ぶ～日本の開発経験～ ..... 3/1(金) 19:00～21:00
- ※講師の都合等で実施日が変更になる場合があります。

公開講座とは・・・

JICAボランティアの派遣前訓練で実施している各種講座を一般の方にも公開しているものです。会場はJICA駒ヶ根青年海外協力隊訓練所にて。

青木カウンセラーが叙勲されました

平成24年度秋の叙勲におきまして、青木和男JICA長野県進路相談カウンセラーが、社会・公共に長年尽くしたと認められる功労者に与えられる「瑞宝小綬賞」を受賞されました。青木カウンセラーは長野県職員として下伊那地方事務所長、生活環境部長などを歴任後、2003年に退職し、日本赤十字長野県支部事務局長に就任、2008年からJICA駒ヶ根に所属し、進路相談カウンセラーとして、帰国したJICAボランティアの就職や社会貢献の場の確保のために尽力されています。



内閣府ホームページより

青年海外協力隊

行ってきます!!

長野県出身新ボランティア



伊藤 貴之 さん (飯田市)



- 隊 次:平成24年度第3次隊
- 派遣国:ドミニカ共和国派遣
- 職 種:義肢装具士

任国の価値観や社会を理解し、ニーズを的確に把握した上で、これまでの経験を活かして、任国の医療・経済・社会の発展に貢献したいと考えています。任務を終えて、無事帰国した際には、活動から得た経験を活かして、日本の医療の発展に努めたいと思います。



梅田 恵理香 さん (富士見町)



- 隊 次:平成24年度第3次隊
- 派遣国:ニカラグア
- 職 種:助産師

中米のニカラグアへ助産師として派遣されます。保健センターの機能も持つ病院で環境改善やケア向上、地域の青少年クラブ活動の活性化を図る予定です。現地の人々の文化や思いを大切にしながら精一杯活動していきたいです。2年間、笑顔で頑張ります!



吉澤 啓太郎 さん (駒ヶ根市)

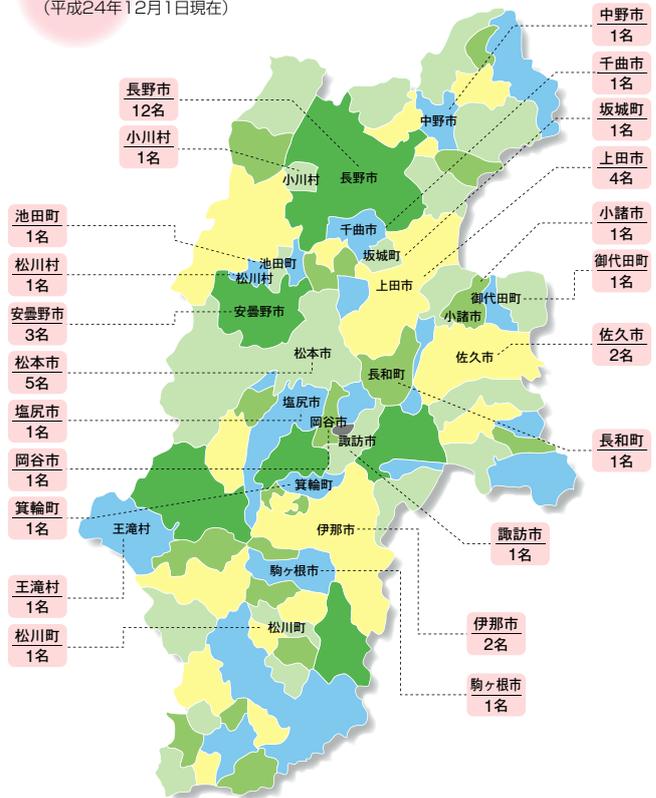


- 隊 次:平成24年度第3次隊
- 派遣国:ネパール連邦民主共和国
- 職 種:行政サービス

駒ヶ根市の友好姉妹都市であるネパールのポカラ市役所で行政制度の強化のお手伝いをさせていただきます。現地の市民サービスの質を向上させるとともに、活動を通じてお互いの友好関係を一層深めることができるよう精一杯活動していきます。

派遣中JICAボランティア

(平成24年12月1日現在)



JICAボランティア派遣実績

平成24年12月1日現在

- |                                   |                                    |
|-----------------------------------|------------------------------------|
| ①青年海外協力隊員数<br>派遣中 32名<br>累計 714名  | ③日系社会青年ボランティア数<br>派遣中 0名<br>累計 17名 |
| ②シニア海外ボランティア数<br>派遣中 9名<br>累計 55名 | ④日系社会シニアボランティア数<br>派遣中 0名<br>累計 3名 |

発行 独立行政法人 国際協力機構  
駒ヶ根青年海外協力隊訓練所

〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂15  
TEL.0265-82-6151(代) FAX.0265-82-5336  
E-mail jicakjv@jica.go.jp  
http://www.jica.go.jp/komagane/index.html

JICA駒ヶ根  
メールマガジン

JICA駒ヶ根では毎月1回メールマガジンを配信しています。県内の国際協力に関する動きやイベントなど、耳よりな情報をリアルタイムでお届けします。



配信希望の方は [jicakjv@jica.go.jp](mailto:jicakjv@jica.go.jp) までメールでご連絡ください!